

平成 29 年 第 8 回 三朝町教育委員会 定例会 日程

と き：平成 29 年 8 月 1 日（火）午後 1 時 30 分

ところ：三朝町役場 第 3 会議室

1 開 会

2 前回議事録承認

3 議事録署名委員指名

4 報告事項

教育長・各課報告（行事予定含む）

児童生徒の全国大会等出場状況について

鳥取県総合体育大会の結果について

第 41 回中部小学校水泳大会の結果について

中学生手作り訪仏事業について

前期学校訪問報告書について 【別冊】

放課後子ども総合プラン 三朝町行動計画編（素案）について

教育委員会名義後援（6 件）について

第 63 回東伯郡民体育大会の結果について

三朝町・城陽市文化スポーツ交流事業について

第 42 回人権尊重社会を実現する鳥取県民集会について

中部地区生涯学習実践研究交流会について

第 40 回中国・四国地区社会教育研究大会鳥取県大会について

5 議 事

議案第 27 号 外国語指導助手の任命について

6 協議事項

小学校交流事業について

三朝町義務教育の将来像について

7 その他

8 閉 会

次回定例会：平成 29 年 8 月 日（ ） ： ～ 役場第 会議室

4 報告事項

【教育総務課】

月日	時間	内容
6月27日	火 12:10-	町教委前期学校計画訪問【西小】、意見交換会【溪泉閣】
6月28日	水 10:00-	小鹿老人クラブ【レスポール】 学校統合について
6月29日	木 ~30日	鳥取県町村教育長会総会・第1回研修会・意見交換会【三朝町役場】
6月30日	金 13:00-	町水泳交流会【西小】
7月1日	土 ~4日	台中市石岡区との中学生相互交流【台湾受入】
7月3日	月 8:30- 18:30-	台中市石岡区との中学生相互交流表敬訪問【三朝町役場】 台中市石岡区との中学生相互交流歓迎夕食会【溪泉閣】
7月4日	火 10:30-	2年生3小プール交流【西小】
7月5日	水 9:30-	第4回小中学校長会【三朝町役場】
7月6日	木 9:30- 14:00-	三朝町民生児童委員学校訪問【西小】 第2回教育懇談会【三朝町役場】
7月8日	土	第27回全日本トッパホル選手権鳥取県大会【鳥取県民体育館】準優勝
7月10日	月 10:00-	三朝町民生児童委員学校訪問【南小】【東小】
7月11日	火 9:40- 16:30-	三朝町民生児童委員学校訪問【中学】 訪台語学学習【中学校】
7月12日	水 ~13日	三朝町教育委員会県外視察【広島県竹原市 忠海学園、愛媛県今治市 市立吹揚小学校】
7月14日	金 14:00-	鳥取県市町村教育委員会研究協議会総会【セントパリス倉吉】
7月15日	土 13:00-	公開講座「地球科学者が見た 地震の科学と災害対応力」【文化ホール】
7月16日	日 10:30-	鳥取地震こころの復興支援 わくわくお話の会【文化ホール】
7月18日	火 18:30- 19:00- 19:00-	訪台語学学習・説明会【中学校】 中学校三朝竹田地区懇談会【中学校】 第2回三朝町子ども・子育て会議【文化ホール】放課後子ども教室
7月19日	水 10:30- 17:00-	3年生3小プール交流【西小】 南小児童全国大会等出場者激励会【三朝町役場】
7月20日	木 14:30- 14:30- 14:30-	台中市石岡区との中学生相互交流訪台団壮行会【三朝町役場】 第22回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会出場激励会【三朝町役場】高橋陽桜：中1 J E T 絆大使任命伝達式【三朝町役場】デレク 南小終業式、中学校終業式
7月21日	金 15:00-	西小終業式、東小終業式 天神川流域会議【倉吉市役所】
7月22日	土 ~23日 ~29日	鳥取県総合体育大会 第22回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会【大阪 J-GREEN 堺】高橋陽桜：中1
7月23日	日 13:30-	家庭で子どもに教えたいたいお金の使い方【文化ホール】
7月24日	月 18:00- 19:00-	外国語指導助手送別会【華】 中学校三徳・小鹿地区懇談会【中学校】
7月25日	火 9:00- 14:40- 19:00-	第41回中部小学校水泳大会【大栄中】 訪仏事前学習会【中学校】 中学校旭地区懇談会【中学校】
7月26日	水 ~30日 9:00-	台中市石岡区との中学生相互交流【台湾派遣】 西小南小交流学習打合せ【三朝町役場】
7月27日	木 14:40-	訪仏事前学習会【中学校】
7月29日	土 ~30日	第8回 J A 鳥取中央杯学童軟式野球大会
7月30日	日 17:00-	キュリー祭ステージイベント(さいとりさし、アドバンス、金管バンド) 第33回わんぱく相撲全国大会【両国国技館】藤田春輝：南4
7月31日	月 9:00- 14:30-	新任教職員三朝町内視察研修【町内・三徳山】 町内教職員研修【三徳山・三朝温泉】

8月1日	火	13:30- 14:40- 19:00-	第8回教育委員会定例会【三朝町役場】 訪仏事前学習会【中学校】 訪仏説明会【中学校】
8月3日	木	～7日	鳥取県小学校水泳大会【米子】 阿波おどりカップ全国学童野球大会【徳島県】 スポ少
8月4日	金	10:30-	第61回キュリー祭式典【文化ホール】
8月7日	月	15:00-	第3回中部教育研究会【倉吉市役所】
8月8日	火	14:40-	訪仏事前学習会【中学校】
8月9日	水	13:00-	平成29年度市町村教育委員会委員研修会【セントパレス倉吉】
8月10日	木	9:30- 10:00-	学校教育課程研究集会 小：図画工作、総合、中：美術、総合【文化ホール】 三朝町行政報告会【三朝町役場】
8月17日	木	～18日 14:40-	中国五県町村教育長研究大会【広島県大崎上島町】 訪仏事前学習会【中学校】
8月18日	金	18:30-	こども将棋教室【文化ホール】
8月19日	土		第33回全国小学生陸上競技交流大会【横浜日産スタジアム】赤熊琴：南6 ジャベリックボール投
8月21日	月	18:30- ～22日	こども将棋教室【文化ホール】 文科省教育行政アドバイザー来町
8月22日	火	14:40-	訪仏事前学習会【中学校】
8月23日	水	～24日	多賀町調印式（教育長、西小校長）【滋賀県多賀町】
8月24日	木		中学校始業式
8月26日	土	10:00-	みささ土曜楽校（小学生学力アップ講座）【文化ホール】
8月27日	日		県青少年郷土芸能の祭典【アロホール】南小さいとりさし
8月28日	月		南小始業式
8月29日	火	～4日	ふれあい運動 東小始業式、西小始業式
9月4日	月	9:30-	第5回小中学校長会【三朝町役場】
9月9日	土		中学校運動会
9月10日	日		東小運動会（三徳・小鹿地域）、南小運動会（竹田地域）
9月26日	火		学校オープン
9月27日	水		学校オープン
9月30日	土	10:00-	みささ土曜楽校（小学生音楽講座）【三朝バイトン美術館】
11月19日	日		第4回中国ブロック会長杯小学生ドッジボール選手権大会【広島県】

児童生徒の全国大会等出場状況について

7月22日～ 第22回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会 大阪：J-GREEN 堺
岡山湯郷 Belle U-18 所属 三朝中1年 高橋陽桜(たかはし ひばな)
1回戦 0対3 AC福島 負け

7月25日 第52回全国道場少年剣道大会 東京：日本武道館
倉吉道場所属 西小5年 松原颯馬(まつばら そうま)
1回戦 2対1 下館士徳会(茨木) 勝ち
2回戦 1対2 御厩剣友会(福島) 負け

7月30日 第33回わんぱく相撲全国大会 東京：両国国技館
南小4年 藤田春輝(ふじた はるき)4年生 33位/132人
1試合目 寄り切り 勝ち
2試合目 掬い投げ 負け
団体 鳥取B 111位/132団体

8月19日 第33回全国小学生陸上競技交流大会ジャベリックボール投げ 横浜：日産スタジアム
南小6年 赤熊琴(あかくま こと)

11月19日 第4回中国ブロック会長杯小学生ドッジボール選手権大会 広島：アザリア千代田体育館
南小 チーム南ファイターズ

平成29年度 鳥取県総合体育大会 結果報告 (三朝中学校) 7/22-23

<ソフトテニス部>

女子団体 ベスト8

1回戦 3-0 境二中 勝ち

2回戦 1-2 湊山中 負け

女子個人 1回戦敗退 中松・明津ペア 青木・田村ペア

2回戦敗退 米田・米原ペア 小谷・橋口ペア

3回戦敗退 山本・岩本ペア (ベスト16)

<陸上部>

(入賞者なし)

決勝進出者 川北宇宙 1年男子1500M 4分53秒 10位

長安雄大 2年男子1500M 4分44秒 16位

準決勝進出者 橋本楓生 2年男子100M 4位 決勝進出ならず

<剣道>

男子団体

1回戦 1-2 鳥取東 負け

男子個人 1回戦敗退 佐野雅弥

2回戦敗退 山根直武

<水泳>

4位入賞 岩山悠馬 男子1500M自由型 19分22秒98

4位入賞 岩山悠馬 男子400M自由型

寺坂唯吹 男子100M背泳ぎ (予選不通過)

寺坂烈 男子100M背泳ぎ (予選不通過)

<バドミントン>

男子個人 1回戦敗退 田栗拓海

第41回中部小学校水泳大会入賞者一覧(公開用)

平成29年7月25日(火)

会場:大栄中学校プール

主催:中部小学校体育連盟

【団体】

200m メドレーリレー	5年	女子	三朝南	1位、三朝西	4位
		男子	三朝東	2位、三朝西	8位
	6年	女子	三朝東	6位、三朝西	7位
		男子	三朝東	2位(大会新)、三朝西	7位、三朝南 8位
200m リレー	5年	女子	三朝南	2位、三朝西	4位
		男子	三朝東	2位	
	6年	女子	三朝東	5位、三朝西	7位
		男子	三朝東	2位(大会新)、三朝西	4位、三朝南 10位

【個人】

50m 自由形	5年	女子	吉村 若葉(東)	1位
		男子	米原 にな(西)	6位
	6年	女子	矢吹 駿裕(南)	5位
		男子	山口 梨織(東)	1位
100m 自由形	5年	女子	赤熊 琴(南)	2位
		男子	吉田 一成(東)	1位
	6年	女子	東原 真那(西)	7位
		男子	谷本 幹太郎(西)	3位(大会タイ)
50m バタフライ	5年	女子	福田 桜穂(南)	2位(大会新)
		男子	小浜 はな(西)	4位
	6年	男子	矢木 翔太郎(西)	1位
		男子	山本 桜希(東)	3位
50m 背泳ぎ	5年	女子	吉田 匠(東)	1位(大会新)
		男子	林 慶太(西)	5位
	6年	女子	阿部 鉄生(南)	6位
		男子	米原 歩那(南)	1位(大会新)
100m 平泳ぎ	5年	女子	藤井 はる(西)	3位(大会新)
		男子	竹部 槇馬(西)	4位
	6年	女子	内田 結万(東)	5位
		男子	平 葵衣(西)	6位
50m 平泳ぎ	5年	女子	安田 茉央(南)	7位
		男子	藤村 碧(東)	1位(大会新)
	6年	女子	松原 汰朗(西)	2位
		男子	米田 真央(西)	2位
50m 平泳ぎ	5年	女子	島田 葵(西)	5位
		男子	田中 万陽(西)	5位
	6年	女子	小谷 和夢(南)	6位
		男子	小谷 倫太郎(西)	7位
50m 平泳ぎ	5年	女子	松原 里緒(西)	3位
		男子	谷本 祥実(南)	8位
	6年	女子	長安 一樹(東)	5位
		男子	津村 胡奈(東)	6位
50m 平泳ぎ	5年	女子	川北 里(西)	7位
		男子	田口 瑠唯(東)	5位
	6年	女子	福田 華生(南)	7位
		男子	福田 華生(南)	7位

平成 29 年度 中学生訪仏事業概要（案）

1 事業の目的

本町とフランス共和国ラマルー・レ・バン町の友好姉妹都市提携が平成 22 年で 20 周年を迎えたことを記念して、相互理解と国際理解を図るため、中学生の派遣を平成 23 年度から開始し、生徒の国際感覚を養うとともに、相手国・地域を正しく認識させ、三朝町の次代を担う人材育成を図り、両地域の交流推進に資する。

2 派遣の概要

(1) 派遣人数

中学生 6 人、引率 4 人（教育長、教員、職員、国際交流員）

(2) 派遣日程

平成 29 年 9 月 22 日～平成 29 年 9 月 28 日の 7 日間 ※カッコ内は日本時間

日付	午前 午後	訪問地名	使用交通機関	日 程 の 概 要
9/22(金)	(午前) 午後	国内 鳥取市 東京 フランス パリ	教育支援バス 飛行機 飛行機 シャトルバス	鳥取空港 羽田空港 シャルル・ド・ゴール空港 ホテル泊
9/23(土)	午前 午後	ベジエ ラマルー	TGV 専用車	経由地 ラマルー・レ・バン ホームステイ、ホテル泊
9/24(日)	午前 午後	ラマルー		交流事業 ホームステイ、ホテル泊
9/25(月)	午前 午後	ラマルー		交流事業 ホームステイ、ホテル泊
9/26(火)	午前 午後	ベジエ パリ	専用車 TGV	経由地 ホテル泊
9/27(水)	午前 午後	パリ	バス、地下鉄 シャトルバス	市内視察 シャルル・ド・ゴール空港 機内泊
9/28(木)	(午後)	国内 東京 鳥取市 三朝町	飛行機 飛行機 教育支援バス	羽田空港 鳥取空港 三朝町役場

(3) 派遣に係る対応

派遣生徒を対象に、生徒による訪仏計画の策定や準備と併せ、町国際交流員による語学講座を開催予定（7/25、7/27、8/1、8/8、8/17、8/22）

「放課後子ども総合プラン 三朝町行動計画編（草案）」の概要

1 計画を必要とする背景

平成26年7月に文部科学省、厚生労働省の連名で「放課後子ども総合プラン」が策定されました。プランでは、国の全体目標として、平成31年度末までに「放課後児童クラブを約30万人分新たに整備」すること、「全小学校区で一体的に又は連携して、放課後子ども教室を実施」することが明記されています。

そのため、放課後児童クラブ、放課後子ども教室の両事業の整備を計画的に進めていくことを目的として「放課後子ども総合プラン」に基づき本町の行動計画を策定するものです。

2 計画期間

平成29年度から平成31年度まで

3 計画の構成（予定）

この計画は4章から構成されています。

- 1 行動計画の策定について
- 2 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の状況
- 3 具体的方策、目標、体制、役割等
- 4 放課後児童健全育成（児童クラブ）に関するアンケート調査の概要

4 計画の内容

計画の策定については、国から示された7項目についての平成31年度までの目標量や方策について定めます。

<7項目>

- (1) 放課後児童クラブの平成31年度に達成されるべき目標事業量
- (2) 一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の平成31年度に達成されるべき目標事業量
- (3) 放課後子ども教室の平成31年度までの整備計画
- (4) 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の一体的な、又は連携による実施に関する具体的な方策
- (5) 小学校の余裕教室等の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室への活用に関する具体的な方策
- (6) 放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の実施にかかる教育委員会と福祉部局の具体的な連携に関する方策
- (7) 地域の実情に応じた放課後児童クラブの開所時間の延長に係る取組

三朝町教育委員会
教育総務課 御中

平成29年7月4日
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
人形峠環境技術センター
総務課 福本

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より当機構業務につきましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、下記の資料を送付いたしますので、ご査収方よろしくお願いたします。

こちらの都合で送付が遅くなりましたことお詫びいたします。

お手数ではございますが、名義後援の承認をよろしくお願いたします。

敬具

記

名義後援の承認について(依頼)

※承認をいただきましたら各学校に児童数分の案内を送付いたしますので、お手数ではありますが、各小学校の学年毎の児童集計表をいただけませんか。

よろしくお願いたします。

以上



こども科学実験教室

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 人形峠環境技術センター

日時：平成29年8月19日(土) 10:00~12:10
場所：人形峠環境技術センター 教育棟
(岡山県苫田郡鏡野町上齋原1550番地 人形峠環境技術センター)
対象：小学生1年生~6年生とその保護者 24組48名(先着順)
参加費：100円
送迎：裏面参照
申込み：人形峠環境技術センター 総務課
Tel: 0868-44-2211 Fax: 0868-44-2502

1.体験「測定器で身近な物を測ってみよう！」



放射線って
どんなもの
なんだろう？

放射線ってどんなものか知っていますか？

測定器を使って実際に放射線を測ってみましょう！

2.実験「夜も光るバッジを作ろう！」

バッジに太陽や蛍光灯の光をたくわえます。
するとバッジは暗いところで光ります。

バッジが発光することを観察したあとは、温度によるバッジの変化を観察します。



3.見学「見学坑道で鉱脈を見てみよう！」



昭和32年ごろウランを探すために掘られたわが国に唯一残っている実際に使われていた坑道を見学しましょう。

後援:

平成29年6月28日

三朝町教育委員会

(住 所) 東伯郡北栄町由良宿818-8
申請者(団体名) フリースクール鳥取連絡協議会
(代表者名) 阪本 秀樹



名義後援の承認について(申請)

三朝町教育委員会の名義後援を承認いただきたく、次のとおり申請いたします。

催物の名称	教育相談会
催物の趣旨	不登校児童・生徒の保護者を対象とした教育相談会
開催日時	平成29年9月1日13時30分～29年9月1日16時30分(東部) 平成29年9月2日13時30分～29年9月2日16時30分(中部) 平成29年9月3日13時30分～29年9月3日16時30分(西部)
会 場	東部) 鳥取県立図書館 大研修室 中部) 倉吉体育文化会館 第2教養室 西部) 米子市観光センター
入場料等	無料
連絡先	住 所 東伯郡北栄町由良宿818-8 担当者 阪本 秀樹 電話 0858-37-5011
添付書類	事業計画書・プログラム等
使用する名称	三朝町教育委員会
講演内容	名義後援
本申請以外での後援依頼先	鳥取県教育委員会・鳥取市教育委員会・米子市教育委員会 八頭町教育委員会・湯梨浜町教育委員会・北栄町教育委員会 琴浦町教育委員会・大山町教育委員会・倉吉市教育委員会
備 考	

フリースクール鳥取連絡協議会 教育相談会

実施要項

1. 実施目的

鳥取県内 2016 年 747 人の不登校の児童生徒がいる中で、公的機関や専門機関に相談することができない方々、教育現場でも支援困難で在宅状態が継続している児童生徒がいまだ多くある。今年 5 月にフリースクール鳥取連絡協議会を設立したことを機に、鳥取県東中西部で活動する 3 団体が合同で、各地区で不登校や引きこもりの児童生徒、学校生活や家庭教育で困られている保護者や関係者の教育相談を広く行うことで、解決の一助となるため機会とする。

2. 実施概要

期 日： 東部：2017 年 9 月 1 日（金） 中部：2017 年 9 月 2 日（土）

西部：2017 年 9 月 3 日（日）

時 間： 受 付 13:15～

教育相談会 13:30～16:30 終了

内 容： 個別の教育相談

会 場： 東部）鳥取県立図書館大研修室

中部）倉吉体育文化会館 第 2 教養室

西部）米子市観光センター

対 象： 不登校・引きこもりの児童生徒の保護者や関係者

学校生活・家庭生活で困っておられる保護者や関係者、

教育関係者、各専門機関 等

申込方法： 事前申込み要

申込先 東部開催（ちゃれすくーる）中部開催（フリースクール・S）

西部開催（米子フリースクール）

後 援：（依頼予定）鳥取県 鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会

倉吉市教育委員会 米子市教育委員会 八頭町教育委員会

湯梨浜町教育委員会 北栄町教育委員会 琴浦町教育委員会

大山町教育委員会 三朝町教育委員会

会 費： 無料

3. 主催

フリースクール鳥取連絡協議会

代表世話人 フリースクール・S 阪本秀樹

（〒689-2221 東伯郡北栄町由良宿 818-8 0858-37-5011）

東部 NPO 法人地域スポーツ推進協会フリースクールちゃれすくーる

（〒680-0804 鳥取県鳥取市田島 652 番地 0857-24-5507）

中部 フリースクール・S

西部 米子フリースクール

（〒683-0001 鳥取県米子市皆生温泉 2-2-24 0859-22-0505）

フリースクール鳥取連絡協議会主催教育相談会開催についての説明

・事業計画

別紙・実施要項の通り

具体的には、3人の地域責任者が相談者1人につき約30分程度個別で相談
(東部・間屋口 中部・阪本 西部・八田)

・収支予算書

無料相談会なので金銭は伴わない

会場費は、上記3者で分担し支払う

備考

- 目的
- ・1人でも多くの保護者にフリースクールの存在を知って頂き、不登校生並びに不登校傾向の子供さんに「居場所提供」「学力補充」をし、学校復帰を促す
 - ・保護者の方が、1人で悶々と苦しみ悩むこと無く、相談することにより心の安定を図り、同時に解決の糸口を模索する
 - ・学校との協力を図り（支援会議等を通して）1日でも早い段階で学校復帰を目指す方向を模索する
 - ・県教育委員会より「不登校児童生徒を指導する民間施設」として認定され、また校長の判断より、「出席扱い」とされること等により安心して通学して貰える事等を伝えたい

フリースクール鳥取連絡協議会

代表世話人 阪本秀樹

第201700039363号

平成29年6月20日

フリースクール・S 有限会社 阪本進学教室
代表取締役 阪本 秀樹 様

鳥取県教育委員会
教育長 山本 仁志



「不登校児童生徒を指導する民間施設」について (通知)

このことについて、フリースクール・S は不登校児童生徒においてガイドラインに沿った学校外の民間施設として適切と判断し、関係機関に通知しました。

(担当)	いじめ・不登校総合対策センター 指導担当 八木浩子
電話	0857-28-2362
ファクシミリ	0857-31-3958
電子メール	yagih@pref.tottori.lg.jp

下 公 第 1 8 号

平成29年6月26日

三朝町教育委員会 委員長 様

公益財団法人鳥取県天神川流域下水道公社

理事長 長谷川 具章



第29回下水道コンクールの後援について（依頼）

平素は、公社の運営につきましてご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、当公社では、下水道の普及啓発と、9月10日の「下水道の日」に関連した事業の一環として、下水道に対する理解を深めて下水道の普及を推進することを目的として、小学生を対象にした標記コンクールを平成元年度から実施しています。

つきましては、本年度も別紙の募集要領のとおり実施しますので、ご理解をいただき、ご後援を賜りますようお願い申し上げます。

また、昨年度の作品集を添付していますので、参考にご覧いただければ幸いに存じます。

担当者

公益財団法人鳥取県天神川流域下水道公社

総務班 主事 川崎 利香

電話：0858-35-4423

メール：kawasaki@t-tenjin.org



第29回下水道コンクール作品募集要領（案）

1. 趣 旨

下水道は、快適な生活を実現し、公共用水域の水質汚濁を防止するうえで欠くことのできないものです。下水道の整備普及を促進し、下水道に対する意識の高揚と啓発を図るため、次の世代を担う小学生から作品を募集します。

募集する小学校は、天神川流域下水道の行われている1市3町（倉吉市、湯梨浜町、三朝町、北栄町）を対象にします。

2. 主 催

公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

3. 後 援

4. 募集要項

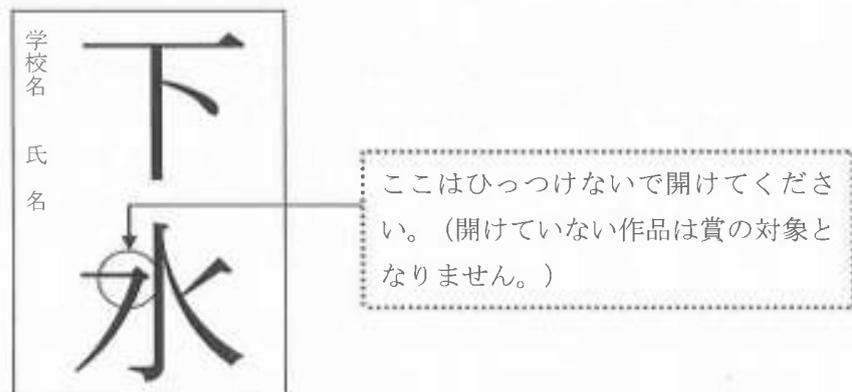
各部門の応募作品は、1人1点とします。

(1) 絵画・ポスター部門

- ・対象学年 4年生
- ・テーマ 下水道の建設、普及促進に関する作品
- ・応募規格 B4～A2版以内とし、画材は特に問いません。
ポスターとして応募する場合は、必ず「9月10日下水道の日」の文字を入れてください。
- ・応募方法 作品の裏面に学校名・氏名を必ず記入してください。

(2) 習字部門

- ・対象学年 4年生
- ・課 題 「下水」「水道」「浄化」のいずれか1つを選択してください。



- ・応募規格 サイズは、半紙判
- ・応募方法 作品には、学校名・氏名を必ず記入してください。

(3) 標語部門

- ・対象学年 4年生
- ・テーマ 下水道の普及促進、下水道に関するさまざまな表現をした作品
- ・応募規格 応募用紙に書いてください。
- ・応募方法 作品には、学校名・氏名は必ず記入してください。

5. 募集期限

9月5日(火)までにお願ひします。

6. 応募方法

各学校でまとめて、公社へ連絡をお願いします。担当者が回収に伺います。

7. 審査

審査委員会を設けて、9月15日(金)に審査します。

8. 各賞

各部門に

金	賞	1名	賞状・副賞
銀	賞	2名	賞状・副賞
銅	賞	若干名	賞状・副賞
参加	賞	応募者全員	

9. 表彰

入賞者には、10月13日(金)に倉吉未来中心で表彰式を行います。

10. その他

(1) 応募作品は、返却します。

(2) 入賞作品の利用に関する権利は主催者に帰属するものとし、作品集を作成し入賞作品を掲載するほか、主催者の広報として印刷物などで利用・掲載することがあります。

また、ご応募の時点で、学校名、学年、氏名等を公表することにご同意をいただいたものと見なさせていただきます。

(3) いずれも、未発表作品に限ります。鳥取県天神川流域下水道公社主催の「下水道コンクール」で過去の入賞作品「標語部門」は次のとおりですので、参考にしてください。

- ・下水道 ほたるの里を 守ってね
- ・ちょっと待て 流していいのか その油
- ・生活守る下水道 リサイクルの 金メダル
- ・もどる水 きぼうの道は 下水道
- ・下水道 天神川の守り神

(4) 問合せ先

公益財団法人鳥取県天神川流域下水道公社 総務班

〒682-0722 東伯郡湯梨浜町はわい長瀬1517

電話 35-4423

ファクシ 35-3644

E-mail tottorigesui@t-tenjin.org

下水道 きみのおかげで 川光る (平成28年度 標語部門 金賞作品)

下水道に一日も早く接続し、快適な暮らしを実現しましょう！

2017年9月吉日
一般社団法人倉吉青年会議所
理事長 濱口 賢司
青少年育成・リーダー資質向上委員会
委員長 松浦 大輔

青少年事業「あの街をリサーチせよ！中部ふるさとラリー」

開催趣意書（案）

我々一般社団法人倉吉青年会議所は、2017年度スローガン「貴方へ～貴方の一歩が地域をそして日本の未来を創る～」のもと、日々活動しております。

青少年の健全育成をテーマに掲げ、この地域に住む人々、そして、自分達の故郷を愛し、鳥取県を想う心を育み、将来の鳥取県を担っていくことのできる青年へと育成する為に「あの街をリサーチせよ！中部ふるさとラリー事業」を計画致しました。

内容としましては、倉吉市内・関金町・湯梨浜町・北栄町・三朝町の各名所・観光スポットを巡るコースを各まちごとに設定し、子どもたちに自分の住んでいない街並を歩いて頂きます。その中で子どもたちに各施設・店舗の取材を行います。その後、取材してきた内容を盛り込んだマップを子どもたちに作成して頂き、マップの発表を行います。

それぞれの街並を歩くことで、普段気が付かなかったその街の新たな魅力の発見、そして、その地域に住む様々な人々とふれあうこと、又、同年代の子どもたちとコミュニケーションをとることで、子どもたちの社会性・自主性を育みます。また、この事業を通じて中部の人々・街並の魅力を感じてもらうことで、子どもたちの郷土愛を育みます。

何卒この事業の趣旨をご理解の上、ご協力の程、よろしくお願い致します。

青少年育成事業 事業要綱（案）

主催 : 一般社団法人倉吉青年会議所 青少年育成・リーダー資質向上委員会

事業名 : あの街をリサーチせよ！中部ふるさとラリー

目的 : 我々が住む鳥取県中部は、少子化により子ども同士の交流機会の減少や過保護化により、子どもたちの自主性・社会性が育まれにくくなるなど、健やかな成長への影響が懸念されています。そうした時代の中で我々ができることは、子どもたちが切磋琢磨し互いの言葉を伝える機会をつくること、また、この地域に住む人々、そして自分達の故郷を想う心を育み、将来のこの街を担っていける青年へと成長させることです。

内容 : 倉吉市内・関金町・湯梨浜町・北栄町・三朝町の各名所・観光スポットを巡るコースを各まちごとに設定し、ウォーキングを行いながら、施設・店舗取材等を子どもたちが行います。そして取材した施設・内容をコースマップにまとめ、子どもたちが各地域のオリジナルマップを作成する。各グループがオリジナルマップ作成後、マップの発表を行います。

実施日 : 10月15日（日）

開催場所 : エキパル倉吉1F多目的ホール

ウォーキングコース : 倉吉市市街、倉吉市関金町中心部、湯梨浜町東郷池周辺、北栄町コナン駅周辺、三朝町温泉街

参加費 : 無料

日 程 : 受付開始	9 : 00 ~
開 会 式	9 : 30 ~ 10 : 00
グループミーティング	10 : 00 ~ 10 : 10
街並ウォーキング	10 : 10 ~ 14 : 00 ※移動・昼食時間含む
まちなみマップづくり	14 : 30 ~ 15 : 30
まちなみマップ発表会	15 : 40 ~ 16 : 00
閉 会 式	16 : 00 ~ 16 : 30

参加予定者数 : 倉吉青年会議所メンバー19名、倉吉市内小学生30名

主催者事務局 : 一般社団法人倉吉青年会議所

鳥取県倉吉市明治町1037

TEL : 0858-22-3042

FAX : 0858-22-4042

担当 : 松浦

三朝町教育委員会 様

一般社団法人鳥取県薬剤師会
中部支部長 石川 敏克
平成 29 年度「薬と健康の週間」関連イベント
実行委員長 忌部義夫

平成 29 年度「薬と健康の週間」関連イベント
名義後援のお願い

向夏の候 貴台ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は学校環境衛生等の薬剤師活動にご理解、ご協力賜り厚く御礼申し上げます。

私ども鳥取県薬剤師会事業の一つとして、医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい知識を広く国民に浸透させることを目的とした啓発イベントを毎年開催しているところですが、本年度は中部支部がイベントを担当することとなり別紙のとおり企画いたしました。

つきましては、名義後援をお願い致したく、下記によりご回答をお願いする次第です。

尚、誠に勝手ではございますが、ご回答を 8 月 8 日（火）までに頂ければ幸いです。

<お問合せ>

一般社団法人鳥取県薬剤師会中部支部

事務局担当 八幡

鳥取県倉吉市福庭 1 丁目 165 番

電話 27-5041・FAX 27-5044



平成 29 年度「薬と健康の週間」関連イベント実施要領

- ①目的 本週間は、医薬品及び薬剤師の役割に関する正しい知識を広く国民に浸透させることにより、国民の保健衛生の維持向上に寄与することを目的とする。
- ②実施主体 厚生労働省、都道府県、日本薬剤師会及び都道府県薬剤師会
- ③実施期間 平成 29 年 10 月 17 日から 10 月 23 日までの 1 週間
- ④実施機関 鳥取県、一般社団法人鳥取県薬剤師会
関連イベント担当支部：一般社団法人鳥取県薬剤師会中部支部
- ⑤対象 一般市民の方
- ⑥関連イベント実施内容 ※入場は無料です。
- ・開催日：平成 29 年 10 月 15 日（日） 午前 10 時から午後 4 時
 - ・会場：鳥取県立倉吉未来中心 アトリウム、セミナールーム 3（講演会場、午後 1 時～）
 - ・イベントテーマ（鳥取県薬剤師会）：「みんなの健康サポートする DYA↑（でえ↑）」
 - ・講演会： 「免疫から健口を考える」
講師 濱吉淳一先生（所属 浜吉歯科クリニック院長）
 - ・イベント各種コーナー：※予告なく変更することがあります。
 - ◆パネル展示
薬物乱用防止、薬の適正使用、禁煙、学校薬剤師検査器具などの展示
 - ◆健康測定 HbA1C・肺年齢・骨密度測定・認知症発見テスト・健康チェックシート
 - ◆体験型
調剤体験、高齢者・妊婦疑似体験、アロマグッズ作り、
 - ◆薬剤師によるお薬相談、睡眠、ストレス相談

平成29年6月26日

三朝町教育委員会 教育長 西田 寛司 様

わかとり科学技術育成会
会 長 森川 修
(鳥取大学入学センター 准教授)



平成29年度科学教育振興事業（主に小学生・中学生を対象とした科学実験教室の開催）
の後援について（お願い）

わかとり科学技術育成会の活動につきましては、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当会では、主に小・中学生を対象に、科学への興味や関心を引き出し、更には創造力や発想力を醸成するなど次代を担う人材の育成に貢献することを目的として、毎年科学実験教室等を開催しております。

本年度も、鳥取県より「平成29年度科学教育振興事業」を受託し、下記のとおり事業を開催することといたしました。

つきましては、三朝町教育委員会のご支援により所期の目的を達成いたしたく存じますのでご後援いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 名 称 平成29年度科学教育振興事業
2. 事業概要 別紙のとおり
3. 後援（予定）
鳥取県、鳥取県教育委員会、各市町村教育委員会、鳥取大学、公立鳥取環境大学、鳥取短期大学、米子工業高等専門学校、鳥取看護大学、鳥取県PTA協議会、鳥取県東部地区高等学校理科教育研究会、鳥取県中部地区高等学校理科教育研究会、鳥取県西部地区理科の会、鳥取県中学校理科教育研究会、鳥取県小学校理科教育研究会、鳥取市小学校教育研究会理科部会、鳥取県中部小学校教育研究会理科部 ほか
4. 参加人数 合計1,900名程度

担当 わかとり科学技術育成会 事務局
特定非営利活動法人 賀露おやじの会
理事長 藤田 充
〒680-0072 鳥取市滝山440-5 滝山楽舎
TEL /FAX 0857-30-7371
e-mail: oyajikaro@yahoo.co.jp



平成29年度わかとり科学技術育成会事業計画書

(平成29年度科学教育振興事業計画書)

1 事業の趣旨及び目的

児童生徒が科学のおもしろさや楽しさを身近に体験し実感できる場を創出することにより、科学への興味や関心を引き出し、更には創造力や発想力を醸成するなど、次代を担う人材の育成に貢献する。

2 事業の内容

(1) 主に小学生を対象とした科学実験教室

ア クリスマスレクチャー2017 in とっとり (予定)

- ・実施月日：平成29年12月9日 午後1時～4時
- ・実施場所：公立鳥取環境大学（鳥取市若葉台北1丁目1-1）
- ・予定人数：約300人
- ・概要：演示実験及びブース型科学教室

◇ 科学遊び演示実験

学校講義形式（ステージ演示）で、身近な科学を楽しみながら理解することができる全員参加型実験を行う。

◇ ブース型科学教室

実験テーマ毎にブースを設け、実験や科学工作を少人数毎に体験する。（10ブース程度を予定）

イ 中部こども科学まつり2017 (予定)

- ・実施月日：平成29年9月16日（土） 午後0時30分～4時
- ・実施場所：鳥取県立倉吉体育文化会館（倉吉市山根529-2）
- ・予定人数：約600人
- ・概要：ブース型科学教室（15ブース程度を予定）

ウ 米子こどもの科学教室2017 (予定)

- ・実施月日：平成29年11月5日（日） 午前10時～午後3時
- ・実施場所：鳥取県立武道館（米子市両三柳3192-14）
- ・予定人数：約700人
- ・概要：ブース型科学教室（20ブース程度を予定）

(2) 中学生を対象とした科学実験教室

東・中・西部において、9月～12月の間に計6回程度を実施。具体的な実施内容は、現在、各地域の実行委員会で検討中。

ア 東部地区

- ・こどもたちのためのサイエンスカフェ
- ・出前教室1回
- ・わかとり科学虎の穴（クリスマスレクチャー2017）
中学生対象ブースを3ブース程度計画

イ 中部地区

- ・わかとり科学虎の穴（中部こども科学まつり2017）
中学生対象ブースを3ブース程度計画

ウ 西部地区

- ・わかとり科学虎の穴2017
高専、高校で出前教室を各1回計画

3 実施体制

- ・わかとり科学技術育成会に東部・中部・西部の各実行委員会を組織し、事業企画・実施を行う。
- ・事業の実施にあたっては、わかとり科学技術育成会の会員の他、小中高等学校の教師、地域の保護者の会とネットワークを構築する。
- ・事業実施の補佐として、大学生のほか中学校、高等学校の生徒を参加させる。特に中・高校生は、自ら科学実験の指導者となることにより、科学への興味・関心を一層強くする場として効果的であることから、多くの子どもたちの参加を呼びかける。

社会教育課 平成29年7月～8月の報告及び取り組みについて

日 時 等	事 業 名 等	場 所	備 考
7/1～2	日本遺産フォーラム	京都	
7月2日	6/24から変更 鳥取県スポーツ少年団軟式野球交流大会	淀江野球場	中国大会まであり
7月6日	19:00～ 人権教育講座「子どもの人権」	文化ホール	72名参加
7月8日	東伯郡民体育大会	北栄町他	
7月9日	10:00～ 東伯郡民体育大会(開会式)	北栄町	雨天の為屋外競技中止
7月11日	13:30～ 古文書を読む会	図書館	
7月12日	10:00～ 三朝大学	文化ホール	50/70出席
	16:00～ 倉吉地区少年補導センター街頭補導	町内	
	19:00～ 人権教育講座「高齢者の人権」	文化ホール	47名参加
7/13～14	第44回全史協中国地区協議会大会	津和野町	
7月14日	19:00～ 人権教育講座「同和問題」	文化ホール	34名参加
7月15日	9:00～ 青空体験塾	文化ホール	
	東伯郡民体育大会	北栄町他	
7月16日	東伯郡民体育大会	北栄町他	
7月21日	19:00～ 人権教育講座「災害と人権」	文化ホール	45名参加
7月25日	13:30～ 古文書を読む会	図書館	
7月26日	19:00～ 人権教育講座「障がいと人権」	文化ホール	
7月28日	19:00～ 人権教育講座「インターネットと人権」	文化ホール	
8月3日	9:00～ 人権尊重社会を実現する鳥取研究集会	未来中心他	
8/7～9	三朝町城陽市文化スポーツ交流事業	町内	
8月18日	13:30～ 三朝大学第4回講座	鳥取短期大学	
8月19日	9:00～ 青空体験塾	文化ホール	
8月23日	町民ゴルフ大会	旭国際	
8月26日	三朝町少年補導委員研修会(予定)	文化ホール	
8月30日	13:30～ 中部地区生涯学習実践研究交流会	まなびタウン	
* 第2・4金曜日19:30～ 骨盤調整ヨーガ		文化ホール	

9月の行事予定

9月10日 9:30～ 中部駅伝競走大会

中部一円

男女別総合得点表

【男子の部】

29年度

区 分		三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
水 泳	小 学 生	6	2	8	4
	成 年 の 部	4	6	8	0
	3 0 歳 以 上	0	8	6	4
	4 0 歳 以 上	0	6	8	6
	5 0 歳 以 上	8	6	8	0
	6 0 歳 以 上	0	6	8	0
	各 部 合 計 点	18	34	46	14
	種 別 得 点	4	6	8	2
陸 上	少 年 C	-	-	-	-
	成 年 一 部	-	-	-	-
	成 年 二 部	-	-	-	-
	成 年 三 部	-	-	-	-
	成 年 四 部	-	-	-	-
	成 年 五 部	-	-	-	-
	成 年 六 部	-	-	-	-
	各 部 合 計 点	-	-	-	-
	種 別 得 点	-	-	-	-
サ ッ カ ー	少 年 C の 部	8	4	6	0
	成 年 の 部	8	6	4	2
	各 部 合 計 点	16	10	10	2
	種 別 得 点	8	6	6	4
ボ ー レ ー	成 年 一 部	4	6	8	0
	成 年 二 部	4	4	6	8
	各 部 合 計 点	8	10	14	8
	種 別 得 点	4	6	8	4
バ ス ケ ッ ト	少 年 C の 部	2	8	4	6
	成 年 一 部	4	8	4	6
	成 年 二 部	4	6	4	8
	各 部 合 計 点	10	22	12	20
	種 別 得 点	2	8	4	6
テ ン ニ フ ス ト	成 年 一 部	0	8	6	0
	成 年 二 部	0	8	6	4
	成 年 三 部	0	8	6	0
	各 部 合 計 点	0	24	18	4
	種 別 得 点	0	8	6	4
卓 球	成 年 一 部	4	0	8	6
	成 年 二 部	4	4	8	6
	少 年 C の 部	0	4	6	8
	各 部 合 計 点	8	8	22	20
	種 別 得 点	4	4	8	6
軟 式 野 球	成 年 の 部	4	4	6	8
	シ ニ ア の 部	-	-	-	-
	各 部 合 計 点	4	4	6	8
	種 別 得 点	4	4	6	8
柔 道 成 年 団 体		0	0	6	8
ソ フ ト ボ ー ル		-	-	-	-
バ ド ミ ン ト ン 成 年 団 体		4	6	4	8
剣 道	少 年 C 団 体	4	4	8	6
	成 年 団 体	4	6	8	6
	各 部 合 計 点	8	10	16	12
	種 別 得 点	2	4	8	6
ゲ ー ト ボ ー ル		-	-	-	-
グ ラ ウ ン ド ・ ゴ ル フ		-	-	-	-
銃 剣 道		8	0	6	4
テ ニ ス		4	6	8	4
網 引		-	-	-	-
ペ タ ン ク		6	4	2	8
ソ フ ト ボ ー ル	メ ン ズ 1 部	6	4	8	6
	メ ン ズ 2 部	0	0	8	6
	各 部 合 計 点	6	4	16	12
	種 別 得 点	4	2	8	6
種 別 合 計 得 点		54	64	88	78
順 位		4	3	1	2

男女別総合得点表

【女子の部】 29年度

区 分		三朝町	湯梨浜町	琴浦町	北栄町
水 泳	小学生	4	6	8	2
	成年の部	4	6	8	0
	30歳以上	0	0	8	6
	40歳以上	0	6	8	6
	50歳以上	0	0	0	0
	60歳以上	0	0	0	8
	各部合計点	8	18	32	22
種別得点	2	4	8	6	
陸 上	少年Cの部	-	-	-	-
	成年一部	-	-	-	-
	成年二部	-	-	-	-
	各部合計点	-	-	-	-
	種別得点	-	-	-	-
ボ ー レ ー ル	少年Cの部	2	8	4	6
	成年の部	0	4	6	8
	ママさんの部	4	8	4	6
	各部合計点	6	20	14	20
	種別得点	4	8	6	8
バ ス ケ ー ツ ト	少年Cの部	0	8	4	6
	成年一部	0	6	4	8
	成年二部	0	6	0	8
	各部合計点	0	20	8	22
	種別得点	0	6	4	8
テ ニ ス	成年一部	8	6	4	0
	成年二部	8	0	6	0
	成年三部	0	0	8	0
	各部合計点	16	6	18	0
	種別得点	6	4	8	0
卓 球	成年一部	0	0	6	8
	成年二部	4	8	6	4
	少年Cの部	0	4	8	6
	各部合計点	4	12	20	18
	種別得点	2	4	8	6
ソフトボール		-	-	-	-
ミ ン バ ト ン	小学生	4	8	4	6
	成年団体	0	0	8	6
	各部合計点	4	8	12	12
	種別得点	4	6	8	8
剣道成年団体		8	6	4	4
ゲートボール		-	-	-	-
グラウンド・ゴルフ		-	-	-	-
テニス		0	8	0	0
綱引		-	-	-	-
キックボール		-	-	-	-
ベタンク		8	4	4	6
ソ フ ト バ ー レ ー ル	レディース1部	4	6	8	0
	レディース2部	0	0	8	6
	各部合計点	4	6	16	6
	種別得点	4	6	8	6
種別合計得点		38	56	58	52
順位		4	2	1	3

「第63回東伯郡民体育大会」競技結果一覧

【団体】※複数団体出場種目は上位結果のみ

【個人】※上位者のみ、敬称略

種目	区分	結果	所属
水泳	男子	小学生200mメドレーリレー	優勝 東小
		小学生200mリレー	優勝 東小
		中学生400mメドレーリレー	優勝 3位
		成年200mメドレーリレー	3位
	女子	小学生200mメドレーリレー	4位 南小
		小学生200mリレー	4位 東小
男女	総合リレー	3位	
陸上	男子	雨天中止	
	女子	雨天中止	
軟式野球	男子	シニア 成年	雨天中止 3位 Aチーム
ソフトボール	男子	成年	雨天中止
サッカー	男子	少年C	優勝 スポ少
		少年B	初戦敗退 三朝中
		成年	優勝
バレーボール	男子	成年1部	3位
		成年2部	3位
	女子	少年C ママさん	初戦敗退 3位 スポ少
バスケットボール	男子	少年C	初戦敗退 スポ少
		成年1部	3位
	女子	成年2部 少年C	3位 初戦敗退 スポ少
ソフトテニス	女子	成年1部	優勝
		成年2部	優勝
テニス	混成	優勝	
テニス	男子	成年	3位 Bチーム
バドミントン	男子	成年	3位
	女子	小学生	2回戦敗退 スポ少
卓球	男子	成年1部	3位
		成年2部	3位
	女子	成年2部	3位
キックボール	女子		雨天中止
ゲートボール	男子		雨天中止
グラウンドゴルフ	男子		雨天中止
	女子		雨天中止
ペタンク	男子	準優勝 3位	大瀬F 大瀬E
	女子	優勝 3位	大瀬G 大瀬H
剣道	男女	少年C	3位 スポ少
	男子	成年	初戦敗退
銃剣道	男子	成年	優勝
	女子		
綱引	男子		雨天中止
	女子		雨天中止
ソフトバレーボール	男子	メンズ1部	3位 ラボラボ・役場
	女子	レディース1部	3位 ラボラボ

種目	区分	結果	氏名(所属)
水泳	男子	4年以下50m自由形	優勝 澤 龍生(西小)
		4年以下50mバタフライ	準優勝 小谷寛太郎(西小)
		4年以下50m背泳ぎ	優勝 磯尾徂太(西小)
		4年以下50m平泳ぎ	優勝 加藤 瑠(西小)
		5年50mバタフライ	優勝 矢木翔太郎(西小)
		5年50m背泳ぎ	優勝 山本桜希(東小)
		6年50m自由形	3位 吉田一成(東小)
		6年50mバタフライ	優勝 吉田 匠(東小)
		6年50m背泳ぎ	優勝 藤村 碧(東小)
			準優勝 松原汰朗(西小)
		中学1年100m背泳ぎ	優勝 寺坂 烈(三朝中)
		中学1年100m平泳ぎ	優勝 矢木聖一朗(三朝中)
	女子	中学1年100m背泳ぎ	準優勝 川北宇宙(三朝中)
		中学2・3年200m個人メドレー	優勝 岩山悠馬(三朝中)
		中学2・3年100mバタフライ	優勝 岩山悠馬(三朝中)
		中学2・3年100m背泳ぎ	優勝 寺坂唯吹(三朝中)
		中学2・3年100m平泳ぎ	優勝 岩山悠馬(三朝中)
		成年50m自由形	優勝 藤原将希
		成年50m背泳ぎ	優勝 藤原将希
		50代50m自由形	優勝 藤原彰二
			準優勝 吉田弘幸
		50代50m背泳ぎ	優勝 藤原彰二
		4年以下50m自由形	3位 北川ひかり(西小)
		4年以下50mバタフライ	準優勝 山崎志歩(西小)
		5年50mバタフライ	準優勝 福田桜穂(南小)
		5年50m背泳ぎ	優勝 米原歩那(南小)
5年50m平泳ぎ	準優勝 藤井はる(西小)		
6年50mバタフライ	準優勝 米田真央(西小)		
6年50m背泳ぎ	準優勝 山口梨織(東小)		
	準優勝 内田結万(東小)		
	3位 安田茉央(南小)		
小学生タイムトライアル	3位 山口梨織(東小)		
中学1年100m自由形	準優勝 福田優衣(三朝中)		
中学1年100mバタフライ	優勝 藤原加奈子(三朝中)		
青年100m自由形	3位 遠藤里歩		
青年100m背泳ぎ	優勝 藤原れな		
成年50m平泳ぎ	準優勝 深田菜摘		
剣道	男子	少年B(有級)	準優勝 山根直武(三朝中)
		40歳未満	3位 佐崎海夢(三朝中)
			3位 小椋元裕

平成29年度 三朝町・京都府城陽市 文化スポーツ交流事業

参加者募集!!

定員 **20** 名

しまいとし きょうとふじょうようし

三朝町の姉妹都市である京都府城陽市の友だちと、一緒に夏休みの思い出をつくりませんか？

キャンプ、川遊び、三徳山登山、そしてみんなの大好きな名探偵・・・、楽しいイベントがいっぱい!

「2泊3日の大冒険」、みなさんの参加をお待ちしています!!

【行事の内容】

三朝町・中部地区の文化を知ろう

- ・三徳山登山、三徳山宿泊
- ・青山剛昌ふるさと館見学 & 第10回名探偵カワと巡る由良宿まち歩きツアー参加



三朝町の大自然を満喫しよう

- ・キャンプ（神倉）
- ・小鹿溪で溪流あそび



地域を越えた仲間をつくろう

- ・夜のトレジャーハンティング
- ・フランス料理教室



対象：町内小学生 4～6年生

交流日程：8月7日（月）～9日（水）（2泊3日）

申込×切：7月14日（金）まで

申込先：三朝町教育委員会社会教育課（☎43-3518）または、各小学校

- ・食費、入場料、体験料等実費負担（各自現地精算）として、3,000円を当日持参してください。
- ・持ち物等の詳細は、参加申込が決定した方へ、後日文書でお知らせします。
- ・申込書は後のページにあります。

平成 29 年度 三朝町・城陽市文化スポーツ交流事業 実施要項（抜粋）

- 1 目的 本町と姉妹都市盟約を締結している『京都府城陽市』との児童間交流を行うことによって、互いの「まち」の歴史や自然・文化を通して相互に理解し、及び同年齢の子ども同士でスポーツやレクリエーション・野外活動などを互いに体験することで、相互の友情を深め、広い視野を育て、本町、城陽市相互の子ども達のさらなる健全育成を目指す。
- 2 主催 三朝町教育委員会・京都府城陽市教育委員会
- 3 参加対象 町内小学校 4年生～6年生まで（定員：20名）
（城陽市児童 20名・引率職員 3名）
- 4 活動概要 （平成 29 年度 城陽市より受入）
本町と城陽市の児童が一緒のグループで、スポーツや野外体験、また地場産業に関する体験活動などを行う。
- 5 日程 平成 29 年 8 月 7 日（月）～ 9 日（水）2泊3日
※ 主な行事予定
〔1日目〕対面式、交流事業「青山剛昌ふるさと館等見学」（北栄町）、
三朝温泉入浴体験（プランナールみささ）、三徳山皆成院宿泊
〔2日目〕三徳山投入堂参拝、キャンプ体験（三朝町神倉）、溪流あそび、
トレジャーハント（ナイトハイク）、花火大会等
〔3日目〕フランス家庭料理教室、お別れ会
- 6 交通手段 町教育支援バス・町マイクロバス
- 7 募集方法
 - ・募集チラシを、町内各小学校を通じて配布する。
 - ・申込期限 7月14日（金）
 - ※定員を超える申し込みがあった場合は、抽選により参加者を決定する。
- 8 その他 三朝町の児童は、お米3合持参する（予定）。

----- き り と り せ ん -----

平成 29 年度 三朝町・京都府城陽市文化スポーツ交流事業 参加申込書

ふりがな 参加児童の名前		学校名・学年	小学校 年生	男・女
住 所		電 話		アレルギーの有無 （有の場合はその内容）
保護者氏名	印	緊急時連絡先		

※申込み〆切 7月12日（水）まで 三朝町教育委員会、各小学校まで ※参加費は、当日集金します。

- 11 駐車場 ◎ 全体会場①倉吉未来中心②上灘小学校校庭(未来中心の東約300M)を利用してください。いずれも無料です。
◎ 分科会場①倉吉未来中心②倉吉交流プラザ③上灘公民館④中部総合事務所(未来中心から2km) ⑤新日本海新聞社(未来中心から約3km) ⑥ハワイアロハホール(未来中心から約9km) 各会場の駐車場をご利用ください。

12 参加申し込み及び弁当について

【参加券の申し込み方法及び申込先】

- 参加資料代 1,500円(討議資料代・記録集代)
- 各市町村、学校、企業、関係機関等でまとめていただき、下欄の申込書にご記入の上、大会前(7月25日(火)まで)に参加券を購入して下さい。当日も受け付けますが、できるだけ事前購入をお願いします。
申込先: 第42回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会事務局(鳥取県人権教育推進協議会事務局)
〒680-0846 鳥取市扇町21 県立人権ひろば21ふらっと内 TEL 0857-22-0578 FAX 0857-22-0593
- 個人での申し込みも、上記に従ってください。
- 代金は、振り込み(手数料は自己負担)、現金書留(返信用封筒(切手貼付)同封のこと)または直接持参でお願いします。
- 受付次第、参加券をお送りします。

【弁当申し込みについて】

- 弁当代 800円
- 各市町村、学校、企業、関係機関等でまとめていただき、下記業者へ7月25日(火)までに直接申し込んでください。(「弁当申込書」は鳥取県人権教育推進協議会のホームページに掲載しております)
弁当業者: 株式会社 アベ鳥取堂 フリーダイヤル 0120-13-1433 Fax 0857-24-4280
- 代金の支払い方法、弁当券等については、直接業者と相談してください。

13 その他

- 全体会・分科会とも、必ず受付を通り、参加票を係員に出してください。
- 障がい等で、駐車場・介助・案内などが必要な場合は、あらかじめ研究集会実行委員会事務局にお知らせください。
- ◎ 事務局所在地
研究集会実行委員会
〒680-0846 鳥取市扇町21 県立人権ひろば21ふらっと内
鳥取県人権教育推進協議会事務局 TEL 0857-22-0578 FAX 0857-22-0593
開催地実行委員会
〒682-8611 倉吉市葵町722
倉吉市企画振興部人権局人権同和対策係 TEL 0858-22-8611 FAX 0858-22-8130
大会当日事務局
〒682-0816 鳥取県倉吉市駄経寺町212-5(倉吉パークスクエア内)
県立倉吉未来中心(大会用臨時電話を準備)

※ 本研究集会はクールビズ対応(上着やネクタイ非着用)で開催します。

第42回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会

鳥取県人権教育推進協議会
第42回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会

ご 案 内

人権が尊重される社会の実現に向けて、日々ご努力いただいている県民の皆様にご心から感謝の意を表します。
1974(昭和49)年、部落問題の解決を全県民の力で成し遂げようとの願いから出発した本研究集会は、回を重ねる中で部落問題をはじめ様々な人権問題に気づき、それを解決しようとする広がりや深まりを持った集会へと発展してきました。
これまでの成果をもとに本年も新たな取り組みをしていかなければなりません。本研究集会の一層の充実と発展をめざし「第42回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」を開催します。
社会に存在する具体的な人権問題について県内各地域における実践を持ち寄って交流しましょう。そして自らの問題として話し合いを深め互いの実践の成果に学び合う研究集会にしていきましょう。
私たち県民の研究集会として、多くの皆様の参加をお願いします。

開 催 要 項

- 1 目的 本研究集会は、今日まで積み上げてきた差別の現実から深く学ぶ実践・交流の成果を踏まえ、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権尊重社会の実現に向けて、全県民を対象とした集会として開催します。
- 2 テーマ 「人権尊重社会の実現に向けて、研究と実践を交流しよう」
- 3 主催 鳥取県人権教育推進協議会
第42回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会
- 4 期 日 2017(平成29)年 8月3日(木)
- 5 会 場 全体会(午前):メイン会場 県立倉吉未来中心 大ホール(要約筆記、手話通訳があります)
サブ会場①県立倉吉未来中心 小ホール サブ会場②県立倉吉未来中心 セミナールーム3
(メイン会場の映像をサブ会場で放映します。)
分科会(午後):県立倉吉未来中心 大ホール 他中部地区7会場
- 6 日 程
- | | | | | | |
|-----|-------------------------|----------|-------|-------|-------|
| | 9:00 | 9:45 | 12:00 | 13:15 | 16:00 |
| 受 付 | 全体会(開会行事・基調提案・講演・ミニライブ) | 昼食・休憩・移動 | 分科会 | 閉会 | |
- 7 講 演 演 題 「部落差別解消推進法の意義と今後の課題」
講 師：九州大学名誉教授 内田 博文 さん
- 8 アトラクション ミニライブ&実践紹介 西部の「わ・わ・わ」
(鳥取県西部地区の人権教育担当有志によるグループ)
- 9 後 援 鳥取県 鳥取県教育委員会 倉吉市 倉吉市教育委員会 湯梨浜町 湯梨浜町教育委員会 三朝町 三朝町教育委員会 北栄町 北栄町教育委員会 琴浦町 琴浦町教育委員会 鳥取県議会 鳥取県市長会 鳥取県町村会 鳥取県市議会議員 鳥取県町村議会議員 鳥取県市町村教育委員会研究協議会 公益社団法人鳥取県人権文化センター 鳥取県同和对策協議会 部落解放同盟鳥取県連合会 部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会 鳥取県子ども家庭育み協会 鳥取県国公立幼稚園・こども園長会 鳥取県私立幼稚園・認定こども園協会 鳥取県人権保育連絡会 鳥取県小学校長会 鳥取県中学校長会 鳥取県高等学校長協会 鳥取県私立中学高等学校長会 鳥取県特別支援学校長会 鳥取県PTA協議会 鳥取県高等学校PTA連合会 国立大学法人鳥取大学 公立大学法人公立鳥取環境大学 鳥取看護大学・鳥取短期大学 鳥取県公民館連合会 鳥取県隣保館連絡協議会 鳥取県児童館連絡協議会 鳥取県連合青年団 鳥取県連合婦人会 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 社会福祉法人鳥取県身体障害者福祉協会 鳥取県精神障害者家族会連合会 一般社団法人鳥取県手をつなぐ育成会 日本労働組合総連合会鳥取県連合会 鳥取県教職員組合 鳥取県高等学校教職員組合 鳥取県職員連合労働組合 自治労鳥取県本部 部落解放鳥取県共闘会議 一般社団法人鳥取県経営者協会 鳥取県商工会議所連合会 鳥取県商工会連合会 鳥取県中小企業団体中央会 公益社団法人鳥取県青年会議所 鳥取県農業協同組合中央会 鳥取県仏教連合会 一般社団法人鳥取県建設業協会 一般社団法人鳥取県東部建設業協会 鳥取市人権啓発企業連絡会 倉吉市同和問題企業連絡会 米子市人権問題企業連絡会 鳥取県在日外国人教育研究会連絡会 鳥取県男女共同参画推進会議 朝日新聞鳥取支局 朝日新聞鳥取総局 産経新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 中国新聞鳥取支局 NHK鳥取放送局 日本海テレビ TSK山陰中央テレビ BSS山陰放送 エフエム山陰 テレビ朝日鳥取支局 時事通信社鳥取支局 日本海ケーブルネットワーク株式会社 株式会社中海テレビ放送

第42回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 参加券 申込書

市町村及び団体名	TEL	FAX		申込数	参加券			
	〒				枚			
住所(所在地)				企	(1,500円× 枚)			
申し込み責任者				額	円			
参加分科会(分散会)人数	1		2		3		4	
	1	2	1	2	3	1	2	4

※ 参加分科会の人数欄は、会場の詰合せをする上でおよその人数把握をしておくためです。予定で構いませんのでご記入をお願いします。
※ 障がいのある方への配慮等で、特別に要望がありましたら、下欄に記入して研究集会実行委員会事務局へお知らせください。
()

10 分科会（分散会）構成一覧表

分科会名	1 (人権文化社会の創造)		2 (就学前・学校教育の創造)			3 (共生社会の創造)		4 (学習講座・入門講座)	
討議の視 点	○ すべての人の人権が尊重される地域づくり、社会づくりをどのように進めていくか。 ○ 社会教育関係団体・企業・行政等での人権学習・啓発をどのように進めていくか。		○ 子どもに向き合う人権教育・保育をどのように進めていくか。 ○ 一人ひとりの子どもの進路保障にどのように取り組んでいくか。 ○ 同和問題やさまざまな人権課題の解決に向けて、県民（NPO等）子どもたちの仲間づくりや自主活動をどのように進めていくか。			○ さまざまな人権課題を明らかにし、その解決と共生社会の実現に向けて、県民（NPO等市民団体）がどのように取り組んでいくか。 ○ 同和問題やさまざまな人権課題の解決に向けて、県民（NPO等市民団体）が関係機関とどのように連携を深めていくか。		○ 同和問題をはじめさまざまな人権問題に対する基本的な認識や考え方を深め、解決に向けた運動や取り組みにどのように生かしていくか。	
分散会	1 企業・社会教育関係団体	2 市町村人推協・団体	1 就学前・小学校	2 児童館・小学校	3 中学校・高等学校	1 あらゆる人権課題Ⅰ (同和問題)	2 あらゆる人権課題Ⅱ (災害と人権)		
会 場	倉吉市上灘公民館 会議室1・2	県立倉吉未来中心 小ホール	ハワイアロハホール 大ホール	新日本海新聞社 中部本社ホール	中部総合事務所 講堂	倉吉交流プラザ 視聴覚ホール	県立倉吉未来中心 大ホール	県立倉吉未来中心 セミナールーム3	
報告者 (依頼機関・団体)	陰山 健二 (倉吉市同和問題企業連絡会・西日本旅客鉄道株式会社米子支社)	福田 克彦 (鳥取市宮下地区人権・同和教育推進協議会)	石まゆみ 藤原 尚子 (米子市立こたか保育園)	田中 寛 澤田 直美 (東伯郡児童館連絡会)	横山 義紀 田熊 稔昌 (北栄町立大栄中学校)	伊藤 和彦 (湯梨浜町立文化会館)	八幡 隆司 (認定NPO法人 ゆめ風基金理事)	【ワークショップの可能性を探る!】	
報告題	「差別事象未然防止の取り組み」	「みんなが主役の人権尊重のまちづくりへ～宮下地区のチャレンジ～」	「本物とのふれあいを大切に!」～自然・いのち・仕事～	「宿泊研修だからこそ深まる絆 [また あおついで!] の約束」	「学習会での調べ学習の取り組みを中心に・・・」	「つながる『中3』解放研・高校友の会」交流会の取り組み	「阪神・淡路大震災で被災した障がい者の生活復興する活動から、東日本大震災、熊本地震にも現地での支援活動を行う。活動のきっかけや、災害と障がい者の現状について報告します。」	ワークショップ (WS) とは、学習者が主体的に参加し、それぞれの知識や経験、意見等を共有することによって互いに学びを深めていく手法です。本分科会では、皆さんにWSの一端を実際に体験していただき、その後、登壇者 (スピーカー) がWSの良さや難しさ、WSを使った人権啓発にどのような可能性を感じるか等をお話します。	
報告内容の概要	同和問題や「パワーハラスメント」「セクシャルハラスメント」「障がい者の人権侵害」といった職場で発生しうる差別事象について、全社員が人権研修を受講することでより理解を深めています。その研修内容等をご紹介します。	「みんなが主役の人権尊重のまちづくり」に向けて、「安心・自信・自由」を人権のキーワードとして、小地域人権学習会に取り組んでいます。みんなで共に生きまわすまちづくりを語ろう。そんな活動を報告します。	物事を多面的に見て考えられる感性を育む為に、豊かな自然や、様々な仕事に触れる直接体験を大切に保育に取り組んできました。その中で、自分の思いを表現し、互いに思いあう気持ちを身に付けていく子どもたちの姿を紹介します。	今年で35回を迎える「東伯郡人権・同和教育小学6年生の集い」について報告します。解放子ども会・学習会に参加している6年生が集まり、人権についての理解を深め、差別やいじめを許さない仲間としての絆を深めていきます。	大栄中学校の学習会では、毎年、個人での調べ学習に力を入れてきています。様々な人権問題について学習した上で、各人がテーマを決めて調べ、まとめ、発表している。昨年度のこの取り組みを中心に大栄中学校での人権学習について報告したい。	「つながる『中3』解放研・高校友の会」交流会の取り組み	「つながる『中3』解放研・高校友の会」交流会の取り組み	「阪神・淡路大震災で被災した障がい者の生活復興する活動から、東日本大震災、熊本地震にも現地での支援活動を行う。活動のきっかけや、災害と障がい者の現状について報告します。」	ワークショッ (WS) とは、学習者が主体的に参加し、それぞれの知識や経験、意見等を共有することによって互いに学びを深めていく手法です。本分科会では、皆さんにWSの一端を実際に体験していただき、その後、登壇者 (スピーカー) がWSの良さや難しさ、WSを使った人権啓発にどのような可能性を感じるか等をお話します。
報告者 (依頼機関・団体)	平田 紀子 瀬本 洋志 (倉吉市立上灘小学校PTA)	村上 一成 川上 竜幸 (部落解放同盟鳥取県支部江尾支部)	山田 正隆 (倉吉市立北谷小学校)	行司 志津 (米子市立筑蚊屋小学校)	牧田 雅啓 (倉吉北高等学校)	福本 章 (部落解放同盟鳥取県連合会)	塚根 智子 (倉吉市社会福祉協議会常務理事兼事務局長 (鳥取中部地震 倉吉災害ボランティアセンターセンター長))	中尾 美千代 (倉吉市人権文化センター)	
報告題	「共に学び、共に育つ」	「青年部の社会貢献と自らの成長を目指し」	「豊かな人間関係を育むコミュニケーション能力の育成」	「わたしたちの人権宣言～『受け身の人権学習』から『能動的な人権学習』へ～」	「解放研の生徒と関わって」	「みんな輪になって」～成美小学校卒業記念碑と出上(いであみ)のフィールドの場所をつなぎながら私と同級生たちをめぐる～	「災害ボランティアセンターの活動の状況、一期一会の人たちがチームを組むパワーや人の力のすばらしさ、復興やこれからのまちづくりに大切なものなど、災害ボランティアセンターを通して学んだことを報告します。」	「(スピーカー) 北栄町立大栄中学校 中尾 智則 琴浦町役場 大田 望 (公社) 鳥取県人権文化センター 中江 美紀 (進行役) 岡 研 司 (公社) 鳥取県人権文化センター	
報告内容の概要	いじめ防止等のために、学校・地域・家庭が連携して取り組む「地域と共に創る」とい人権教育事業」を中心に、活動を推進する中で、親子のつながり、子ども同士のつながり、保護者同士のつながり、それぞれがどのように変わってきたのかなどをご紹介します。	高齢化した集落で、人口も激減する中で活動休止していた青年部を、先輩たちの力を借りながら活動を再開し、集落にどのような貢献が出来るのか模索したい。また、青年自らが人権意識の高まりを求めて学習に取り組んだ。その様子を報告する。	学校・家庭・地域の連携を通して行動化を目指してきた倉吉市久米中学校区同和教育研究協議会の実践と、本年度で3年目を迎えるホワイトボード・ミーティングの取組について紹介いたします。	「筑蚊屋教育コミュニティ」における人権尊重社会の基盤づくりをテーマに中学校区の研究を進める中で、人権学習の質的変換を試みてきました。「誰もが幸せに生活できる」社会を目指して、児童が考えた学級の人権宣言の実践を報告します。	地区に移住したことで、学習会に参加し、積極的になった生徒。その生徒が高校に入学して解放研として活動する中で、環境の変化や、関わりを通じて、地区の存在と、自分の心を見つめ、そのことから気づいた課題を報告します。	「みんな輪になって」～成美小学校卒業記念碑と出上(いであみ)のフィールドの場所をつなぎながら私と同級生たちをめぐる～	「みんな輪になって」～成美小学校卒業記念碑と出上(いであみ)のフィールドの場所をつなぎながら私と同級生たちをめぐる～	「災害ボランティアセンターの活動の状況、一期一会の人たちがチームを組むパワーや人の力のすばらしさ、復興やこれからのまちづくりに大切なものなど、災害ボランティアセンターを通して学んだことを報告します。」	「(スピーカー) 北栄町立大栄中学校 中尾 智則 琴浦町役場 大田 望 (公社) 鳥取県人権文化センター 中江 美紀 (進行役) 岡 研 司 (公社) 鳥取県人権文化センター
司会者 (2名)	小山 邦将 (鳥取市青谷町総合支所) 尾崎 公則 (倉吉市同和問題企業連絡会・倉吉駅)	田中 真一郎 (鳥取市東地区同和教育推進協議会) 植垣 郁子 (鳥取市人権政策課・倉吉駅)	田中 真由美 (湯梨浜町わかばこども園) 福原 潤一 (南都立西伯小学校)	河井 園子 (東伯郡児童館連絡会) 押村 克彦 (中山ふれあいセンター)	椋田 智和 (三朝中学校) 松尾 晴夫 (鳥取県立鳥取中央英高等学校)	中尾 美千代 (倉吉市人権文化センター) 前田 英敏 (部落解放同盟鳥取県連合会)	佐藤 淳子 (とっとり震災支援連絡協議会事務局長 「東日本大震災の避難者支援を通して見てきたことや、登壇者のそれぞれの立場の報告から、私たちにできること、しなければならぬことについて参加者の皆さんと一緒に考えます。」	尾崎 真理子 山崎 恵美代	
研究推進委員 (2名)	西村 一秋 (部落解放同盟鳥取県連合会) 寺谷 孝志 (鳥取県教育委員会事務局人権教育課)	加持谷 典範 (江府町人権・同和教育推進協議会) 衣笠 尚貴 ((公財) 鳥取市人権情報センター)	山下 千之 (倉吉市はばたき人権文化センター) 西垣 栄太郎 (鳥取県教育委員会事務局人権教育課)	福島 公明 (鳥取県児童館連絡協議会) 山本 裕児 (鳥取県教育委員会事務局人権教育課)	西垣 卓宏 (鳥取県教育委員会事務局人権教育課) 秋藤 泰之 (鳥取県立倉吉総合産業高等学校)	川口 寿弘 (鳥取県隣保館連絡協議会) 津川 俊仁 (部落解放同盟鳥取県連合会)			
運営委員 (2名)	田中 弘江 田邊 章浩	田中 くに枝 山根 博之	小谷 明寛 山崎 陸	小林 悟 山本 登	御 舩 斎 紀 吉 岡 悟 志	八 村 宏 志 金 谷 達 美	石 田 重 幸 奥 本 範 子	尾崎 真理子 山崎 恵美代	
会場・記録担当市町村	倉吉市	琴浦町	湯梨浜町	北栄町	三朝町	琴浦町	倉吉市	湯梨浜町	

倉吉会場①
(未来中心・交流プラザ・上灘公民館)

倉吉会場②
(中部総合事務所・新日本海新聞社)

湯梨浜町会場

○倉吉未来中心 (TEL 0858-23-5390)
小ホール・・・1の2
大ホール・・・全体会 3の2
○倉吉交流プラザ (TEL 0858-22-0640)
視聴覚ホール・・・3の1
○上灘公民館 (TEL 0858-22-0640)
会議室1, 2・・・1の1

○ハワイアロハホール (TEL 0858-35-5678)
大ホール・・・2の1
○新日本海新聞社中部本社ホール セミナールーム3・・・2の2 (TEL 0858-26-8300)
○中部総合事務所講堂・・・2の3 (TEL 0858-22-8141)

※ハワイアロハホール・新日本海新聞社中部本社・中部総合事務所へは 倉吉未来中心よりマイクローバスが出ます

みんなであつなごろう ふるさとの未来へ

～共に考え共に活動する喜び～

- 目的** 中部地区の社会教育関係者が一堂に会し、社会教育関係者の資質向上と情報の共有化を図り、人づくりや地域づくりに向けた今後の事業推進について研修し、社会教育の充実を図る。
- 期日** 平成29年8月30日（水）13：30～16：40
- 会場** 琴浦町生涯学習センター「まなびタウンとうはく」4階 研修室
東伯郡琴浦町徳万266-5（電話 0858-52-1111）JR浦安駅より徒歩1分
- 主催** 鳥取県社会教育協議会・東伯郡社会教育協議会・倉吉市教育委員会
- 対象者** 中部地区各市町長、教育委員、社会教育委員、公民館運営審議会委員、PTA・婦人会・青年団等社会教育関係団体会員、生涯学習推進者、生涯学習実践者、各市町教育委員会教育長及び職員、公民館長、公民館職員、学校教育関係者 等

6 日程

13:00	13:30	13:40		15:10	15:20	15:30		16:15	16:30	16:40
受付	開会 行事	基調講演		質疑 応答	休憩	実践発表 各15分×3		質疑 応答	閉会 行事	

7 内容

- 開会行事 13：30～13：40
- 基調講演 13：40～15：20
「学校・家庭・地域（企業・NPO等）・行政の連携・協働による教育の充実
～連携・協働の推進に社会教育が果たす役割～」
講師 株式会社キラキラ雲南 常任相談役（雲南市元教育長）土江博昭氏
- 実践発表 15：30～16：30
実践発表者
① 「“今こそ絵本を！事業” でつながるまち北栄町をめざして」
北栄町図書館長 妻由静代氏
② 「運動会を通じた地域と学校との連携」 三朝町小鹿地域協議会事務局 村岡健氏
③ 「 」NPO法人 明倫NEXT100 氏
- 閉会行事 16：30～16：40

みんなであつなごろう ふるさとの未来へ

～共に考え共に活動する喜び～

全国的に少子高齢化や人口減少が進む昨今、学校・家庭・地域・行政では、教育の充実やまちの活性化、地域課題の解決などのために、連携・協働して様々な取り組みが行なわれています。これからのふるさとの未来をよりよくするためにどうしたらよいかを考えます。

日程

平成29年 **8月30日** (水)

13:30～16:40 (受付13:00～)

会場

琴浦町生涯学習センター

まなびタウンとうはく4階 研修室

東伯郡琴浦町徳万266-5 (電話:0858-52-1111)

内容

(1) 基調講演 13:40～15:10

「学校・家庭・地域(企業・NPO等)・行政の連携・協働による教育の充実
～連携・協働の推進に社会教育が果たす役割～」

講師 株式会社キラキラ雲南 常任相談役 土江博昭さん

(2) 実践発表 15:20～16:20

① 「“今こそ絵本を！事業” でつながるまち北栄町をめざして」
北栄町図書館長 妻由静代さん

② 「運動会を通じた地域と学校との連携」
三朝町 小鹿地域協議会事務局 村岡健さん

③ 「
NPO法人 明倫NEXT100 さん



<申込・問合せ先> 下記連絡先へ8月18日(金)までに電話またはFAXにてご連絡ください。

鳥取県教育委員会事務局中部教育局 社会教育担当
【電話】0858-23-3253 【FAX】0858-23-5203

申込期限
8/18(金)

講師プロフィール

株式会社キラキラ雲南 常任相談役 つちえ ひろあき 土江 博昭さん



中学校教員、鳥根県教育庁勤務等を経て、平成5年より加茂町教育長に就任。町村合併に伴い、平成16年より雲南市教育長。「家庭、学校、地域（企業）、行政の協働によるキャリア教育の充実」を目指し、「コーディネーター制度」の導入等を展開。

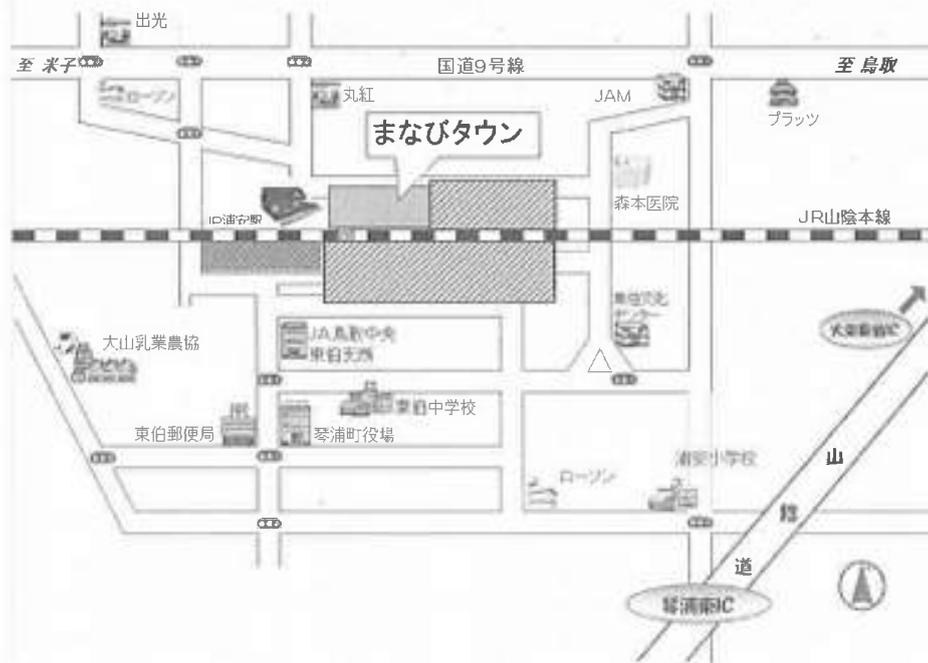
文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会委員（平成17年7月～平成20年3月）、スポーツ・青少年分科会委員（平成20年4月～平成27年2月）等を歴任。

文部科学省初等中等教育局 コミュニティ・スクール推進員（CSマイスター）平成28年度～平成28年12月8日付、退職

平成29年4月～株式会社キラキラ雲南 常任相談役

会場までの案内図

※駐車スペースに限りがありますので、できるだけ乗り合わせてお越しください。



第40回中国・四国地区社会教育研究大会鳥取大会開催要項

【大会スローガン】

「 大山の麓で地域の未来を語ろう ～学びと活動の循環に向けて～」

近年、少子高齢化や過疎化の進行、家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化などにより、地域の活力の低下や人々のつながりの希薄化、文化・規範の次世代への継承など様々な課題が指摘されています。

このような社会の変化による課題の解決に向け、学校、家庭、そして地域が様々な形で連携・協働しながらネットワークを広げ、地域で学びの成果を活かす社会教育の在り方を考えることにより、社会全体が発展していく持続可能なシステムの構築を図っていくことが、今求められています。

そこで、本大会では、「地域で活かす社会教育の在り方を考える」の研究主題のもと、中国・四国地区の社会教育委員をはじめとする生涯学習・社会教育関係者等が一堂に会し、互いの研究と実践に対する情報を共有し、これからの社会教育の推進に向けた取組について協議することで、今後の社会教育活動の新たな動きにつないでいくことを趣旨とします。

- 1 研究主題 「地域で活かす社会教育の在り方を考える」
- 2 期 日 平成29年10月26日（木）から27日（金）
- 3 会 場 [全体会] 米子市文化ホール（米子市末広町293）
[分科会] 米子コンベンションセンター（米子市末広町294）
- 4 参加者 中国・四国地区各県及び市町村の社会教育委員、教育委員、公民館職員、社会教育関係者、学校教育関係者、家庭教育関係者、行政関係者、公民館運営審議会委員、社会教育に関心をお持ちの方等
- 5 主催 一般社団法人全国社会教育委員連合、中国・四国地区社会教育委員連絡協議会
鳥取県社会教育委員連絡協議会、第40回中国・四国地区社会教育研究大会鳥取大会実行委員会
- 6 共催 鳥取県社会教育協議会、鳥取県公民館連合会、
鳥取県内各市町村教育委員会、鳥取県教育委員会
- 7 後援 中国・四国地区各県教育委員会、鳥取県市長会、鳥取県町村会、
伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会、鳥取県、
公益財団法人とっとりコンベンションビューロー
- 8 参加費 一人3,000円（資料代等）
- 9 日 程

1日目	11:30	12:40	13:30	13:35	15:15	15:25	16:55	17:15
10/26 (木)	受付	開会行事 ・アトラクション ・開会あいさつ等	シンポジウム ～学びと活動の 循環に向けて～	休憩	記念講演 石浦外喜義氏 (鳥取城北高校 校長)	閉会 行事		
2日目	9:00	9:30	11:50	12:00				
10/27 (金)	受付	分科会 (1) 学校・家庭・地域の連携・協働 (2) 社会教育委員の活動 (3) 家庭教育支援 (4) 地域づくり	閉会					

平成29年8月の主な予定行事（総合文化ホール、地域協議会）

（総合文化ホール）

月 日	予 定 行 事	
8月	6日（日）	小鹿地域協議会：小鹿川と親しむ会9:30-バンビセンター周辺
	10日（木）	三徳地域協議会：わくわく能力アップ教室 13:30-15:00三徳センター
	15日（火）	小鹿地域協議会：ソフトボール大会 9:00-町陸上競技場
		高勢地域協議会：馬場の滝まつり11:00-馬場の滝
	24日（木）	地域協議会連絡会15:30-総合文化ホール
	31日（木）	三徳地域協議会：わくわく能力アップ教室 13:30-15:00三徳センター
		賀茂地域協議会：地域づくりワークショップ
9月	3日（日）	みささ村地域協議会：運動会10:00-西小学校（雨天：スポセン）
		賀茂地域協議会：運動会9:30-三朝中学校（雨天：トレセン）
		高勢地域協議会：運動会10:00-高勢公民館（雨天：体育館）
		三徳地域協議会：三徳ビジネスについて考えよう！14:00-三徳センター
	6日（水）	みささ村地域協議会：「薬の飲み方」講演会19:00-町総合文化ホール
	7日（木）	三徳地域協議会：わくわく能力アップ教室 13:30-15:00三徳センター
	10日（日）	小鹿・三徳地域協議会：東小校区運動会8:40-東小学校（予備日9月17日（日））
竹田地域協議会：南小校区運動会8:40-南小学校（予備日9月17日（日））		

西暦	月
2017	8



月間スケジュール 8月

	行事	備考
1日(火)	南学童お話し会/クイズラリー～30日	竹田地区公民館
2日(水)	移動図書館/夏休み特別企画展～30日	三徳センター
3日(木)	移動図書館・賀茂/支援センターお話し会	賀茂保育園・支援センター・三喜苑 仁の里・みのり・太郎田・小河内・鎌田
4日(金)		
5日(土)		
6日(日)	読書クラブ研修会	伯耆しあわせの里(3人)
7日(月)	休館日/著作権セミナー	未来中心(2名)
8日(火)	南学童お話し会	竹田地区公民館
9日(水)	移動図書館	恋谷・三朝・以心ワール・西学童
10日(木)	移動図書館	上西谷・下畑・曹源寺 余戸・東小鹿・三朝・山田
11日(金)	休館日(祝日:山の日)	
12日(土)		
13日(日)		
14日(月)	休館日	
15日(火)		
16日(水)	移動図書館・竹田保育園お話し会 本の宅配	木地山・加谷・竹田保育園・下西谷・田代 三朝中学校・大柿・南学童・竹田公民館
17日(木)	移動図書館・子ども園お話し会	こども園・支援センター・温泉病院
18日(金)	南学童お話し会	竹田地区公民館
19日(土)		
20日(日)		
21日(月)	休館日 町教研図書館教育部会研修(中学校)	まなびタウン
22日(火)	町教研図書館教育部会研修(小学校)	まなびタウン
23日(水)	移動図書館・西学童	西小学童クラブ
24日(木)		
25日(金)		
26日(土)		
27日(日)		
28日(月)	休館日	
29日(火)		
30日(水)	本の宅配	
31日(木)	休館整理日	

[報告] ①三朝小唄の誕生90周年記念展/7月1日～16日/来館者1468人

②鳥取県図書館大会/7月27日/町内参加者16人(予定)

議案第 27 号

外国語指導助手の任命について

次のとおり外国語指導助手の任命について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 21 条第 3 号の規定により、本委員会の意見を求める。

平成 29 年 8 月 1 日提出

三朝町教育委員会教育長 西 田 寛 司

- 1 任命する者 A l h a N a f e e s a
- 2 任命期間 平成 29 年 7 月 31 日から平成 30 年 7 月 30 日まで

《参考》

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律
（教育委員会の職務権限）

第二十一条 教育委員会は、当該地方公共団体が処理する教育に関する事務で、次に掲げるものを管理し、及び執行する。

三 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること。

協議事項

小学校交流学习について（案）

目 的

教育委員会では小学校統合に向けて取り組んでいるところですが、学校間の交流をさらに深めたいと考えています。

現在でも、修学旅行、遠足、児童体育祭、船上山宿泊体験、水泳交流会、プール交流、児童音楽会などを行っていますが、今後は授業を含めた学習交流も進めていきたい。

学習交流により多様な意見を聞く機会を創り、友だちの考えや思いを尊重し、共に力を合わせて問題を解決する力や何事にも主体的に取り組む力を育成したい。

また、学校統合の際の児童の心理的負担の軽減を図りたい。

交流内容

対象学年	小学校1年生、2年生
実施日	1日単位で週1回程度
実施時期	平成29年度2学期から

検討事項

学習教科
進度調整
移動方法

協議事項

三朝町義務教育の将来像について

三朝町義務教育の将来像について、本委員会の意見を求める。

別紙のとおり

義務教育の将来像

変わる時代背景

20年後、30年後の社会は……



- 科学、経済、社会のあらゆる問題は、地球規模
- 人工知能AIを搭載したロボットが普及
- 宇宙旅行が一般化
- 定住化から目的に応じた移住化
- 都市部は労働層が集中、地方は高齢者を中心とした安住の地へ
- 教育制度の変革、現在の学校制度は存在しているかどうか……

今、求められる教育

変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな人間性、心身の健康・体力の知・徳・体をバランスよく育てること



知

基礎的な知識・技能を習得活用する力、自ら考え判断し、表現する力。
問題に積極的に対応し、解決する力

徳

自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性

体

たくましく生きるための健康な体と心

学校教育で子どもに付けなければならない力と態度

- 1 基礎的な知識・技能の習得
- 2 自ら課題を求め追究していく力の育成
- 3 何事にも主体的に取り組む力の育成
- 4 友だちの考えや思いを尊重し、共に力を合わせて問題を解決する力の育成
- 5 他人を思いやるやさしさや、素晴らしいものに感動する心などの育成
- 6 健康な身体と心を自らが育む態度の育成
- 7 故郷を知り、発展のために貢献する心や態度の育成
- 8 情報機器、先端技術等に対する興味関心と、それを正しく有効に活用できる基礎的資質や能力の育成
- 9 グローバル化に向けた、国際社会の中で活躍できる能力や態度の育成
- 10 将来の夢や希望を持ち、実現に向けて努力する態度の育成



期待される指導と環境整備

- 1 子どもの理解力や習熟度の差、多様化する障がいへの適確な指導と対応
- 2 身に付けた知識や技能を活用して表現する場の設定
- 3 互いに競い合い、高め合いするなどして、切磋琢磨して自分を伸ばす集団の存在
- 4 多様な考え方や思いに触れ、豊かな人間関係を築くことができる環境
- 5 情報機器、最先端技術等を活用して学ぶ環境
- 6 教職員が研究や情報交換を行い、指導力の向上ができる環境
- 7 子どもにとって、安全で安心で学びやすく、居心地の良い環境



町内小学校の現状

学校は、子どもたちが集団で生活したり学習したりするなかで、お互いに協力し合い、切磋琢磨し合いしながら、様々なルールを学び、自主性や社会性など、生涯にわたり豊かに生きることができる基盤を身につけていく場である。

○東小と南小の児童数の増加は見込めず、さらに西小も単学級へ移行していく。

○小規模校では、きめ細やかな指導が可能となるついでに、学年をこえた異学年の交流活動が主体となることから、学校全体が家庭的な雰囲気教育活動が展開できる良さがある。

○集団の規模が小さいことにより、実施できない指導や活動も多く、豊かな人間関係において子どもたちにつけなければならない、社会性や確かな学力等を育成する指導や教育活動の展開が不十分であることは否めない。

学校教育目標

郷土を愛し自ら学び豊かな心とたくましい体をもった子どもの育成

～ 知・徳・体の調和のとれた子どもをめざして～

こんな子どもを育てたい!!

知

自ら学ぶ子ども
人や自然に学ぶ子ども
問題解決をする子ども

徳

自分を大切にできる子ども
相手を大切にできる子ども
感動できる子ども

体

進んで心をきたえる子ども
進んで体を鍛える子ども
日々の努力を続ける子ども

マナーアップ
行動プラン

三朝町サンサンプラン

学校楽楽
プラン

バッチリズム
推進プラン

みささ
愛愛プラン

- 規範意識、あいさつ
基本的な生活習慣
- 豊かな心、支え合い
仲間づくり

- わかる授業
基礎的・基本的な学力
- コミュニケーション
かかわり合い

- 体力向上
積極的な意欲
- 生活習慣の向上

- 保護者、地域との連携
- 自然や人材の活用と発信

【コミュニティースクール】～ 地域とともに特色ある学校づくり～

学校運営協議会 三朝、高勢、賀茂、三徳、小鹿、竹田6地区各2名

- ・学校経営方針及び学校運営に関する事項の承認
- ・学校経営方針、学校運営に関する事項及び職員の採用・任用に関する意見
- ・学校の運営状況についての評価

学校支援コミュニティグループ

安全グループ・教育支援グループ・環境整備グループ